



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

瀬戸ロータリークラブ会報

2021年5月26日発行 第2793号

本日のプログラム

2021年5月26日(水)

通算第2970回例会

本年度第37回

WEB例会

例会次第

- ・開会点鐘
- ・会長挨拶
- ・報告事項

前回例会記録

2021年5月19日第2969回例会

WEB例会

- ・出席報告 53名中 33名
- 出席率 62.26%

例会予定

6月2日(水)

WEB例会 於:瀬戸商工会議所
卓話 会場監督 寺田 悟君
「ロータリー回顧」

6月9日(水)

通常例会 於:瀬戸商工会議所
クラブフォーラム

報告事項 2021.05.19(水)

1.幹事報告

①5月26日はWeb例会です。お昼頃に配信します。

②ロータリーの友 5月号は現在送付準備中です。

③名古屋守山ロータリークラブより、7月から下記の変更のお知らせです。

mail: office@nagoyamoriyama-rc.com

HPのURL: https://nagoyamoriyama-rc.com

④名古屋葵ロータリークラブより 6月から例会場変更のお知らせです。

ホテルメルパルク名古屋

(住所:名古屋市東区葵 3-16-16)

⑤バーチャル台北国際大会のプログラムがDCSにアップされ全会員にメール(5/17)・FAX(5/18)にて送信いたしました。

2.次年度幹事報告

①本日、次年度クラブフォーラムについて、各委員会メンバーに事業計画書をメール・FAXにて配信いたしました。

ご意見等は本日 17時までに瀬戸ロータリークラブ事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

第2969回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆さんこんにちは、本日は瀬戸ロータリー第2969回の例会です。本日もWEBの例会とさせていただきます。今日は菅総理が昨年9月自民党総裁選の折に政策理念として発表した自助、共助、公助について話してみたいと思います。

もともとこれは、防災、減災の分野で用いられる概念や、保険や介護の社会保障の分野で用いられる概念です。本来、自民党は小さな政府を標榜しており、自分のことは自分で解決しようというのが自助であり、それが無理ならお互いを助け合う、これが共助です。最後にそれでどうしてもダメなら国が面倒を見ましょう、これが公助であります。物事の考え方としては正しいわけですが、言った時期が悪かったのです。コロナ禍の真っ最中であり、ただでさえ大変な時に自分のことを自分で解決しろとは何かと、国が面倒見なくてどうするんだと野党の総反発をくらったわけです。

考えてみますと我々ロータリアンは一国一城の主であり、額に汗をして働いて収入を得ます。それで家族・従業員を養い、地域社会で活躍し、ロータリーに入会します。ここまでは正に自助(セルフ)

の世界と言えるわけです。ロータリーの奉仕活動にみんなでお金を出し合って世界で何か良いことをしようと言う動きは共助であります。私は常々自分で苦勞して買った機械や器具あるいは備品は保守点検をしっかりと長く使っていくものですが、往々にして寄付でもらったものはあまり大切に使用しないのではないかと考えることがあります。もちろんグローバル補助金の場合には3年間のフォローがあるようですが、5年後、10年後には錆びついて使えなかったり、ほこりをかぶっているような状態になってはならないと思います。すなわち受け手側の姿勢が非常に大事だと考えます。長く大切に使って初めて共助が生きてくるわけです。このロータリーの活動には公助が入ることはありません。今行われているワクチンの取得と確保は正に公助(税金)の典型であります。最近は何と公が混在して公共として使われ2分法(自助、公共)で物事を考える世の中になった様です。アフターコロナではもっと大きく変わるかもしれません。今日は、自助、共助、公助の話させていただきます。

2021学年度米山奨学生タイリンさんとランチ会

